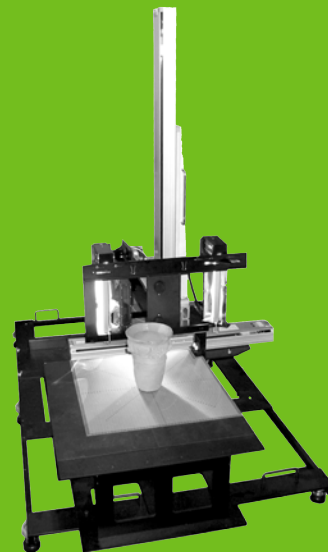
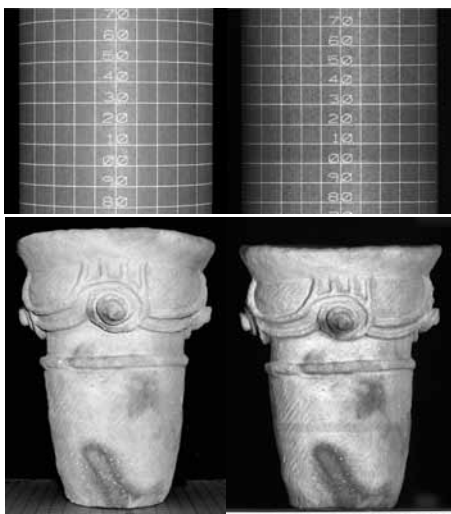


寸法精度とリアリティを
両立した立体物カメラ。
1m×50cmの立体物を
2億画素もの高精細
正射投影(オルソ)画像に。



OrthoScan-1000 の特長

- 正射投影のデジタル画像が得られます。
- 1000mm×500mmの立体物を静止させたまま、0.05mmの解像度にてデジタル画像化できます。
- 奥行き 250mmの立体物も自動焦点します。
- 照明装置を搭載し、さらにキャリブレーション機構を装備したことにより、対象物の反射率に準じた反復精度の高いデジタル画像が得られます。
- 応用事例
埋蔵文化財：土器や石器などの実測図作成
美術館博物館：高精細デジタルアーカイブ作成

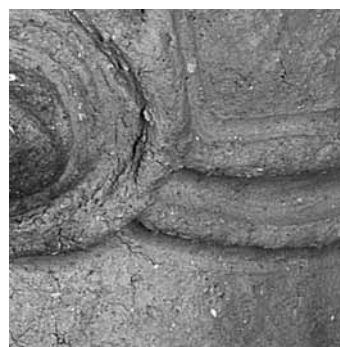


● 中心投影画像(写真左)
投影法の1つで、有限距離からの点光源により投影される画像。通常の写真撮影された画像は中心投影画像となる。

● 正射投影(オルソ)画像(写真右)
投影法の1つで、無限遠からの平行光による投影にて得られる画像。
OrthoScan-1000では、歪みや遠近バースのない正確な側面実測図が、直接高解像度デジタル画像として得られます。

OrthoScan-1000 基本仕様

取り込み寸法	H(Y)1000×W(X)500×D(Z)250mm
光学解像度	10 pixel/mm 20 pixel/mm
有効画素数	H10000×W5000 (5千万) pixel H20000×W10000 (2億) pixel
階調性	10 bit
階調再現性	シェーディング補正機能搭載
出力画像	正射投影(オルソ)画像 8bit BMP ファイル
結像光学系	テレセントリック光学系
センサ系	7μm 5150 画素 ラインセンサカメラ
走査系	多回転アブソリュート機能付きレノルバ搭載 ACサーボモータ駆動直交3軸ステージ 繰り返し位置再現精度 20μm
画像合成機能	バンドスキャン レイヤースキャン ラインセンサ傾き補正
装置寸法	H1670×W1250×D1650mm タワー型PC、制御用ラックを含まない。
総重量	約 100 kg
可搬性	20kg 以下のパーツに分解可能。



等倍
10pixel/mm
にてスキャン

0 10 20 30 mm